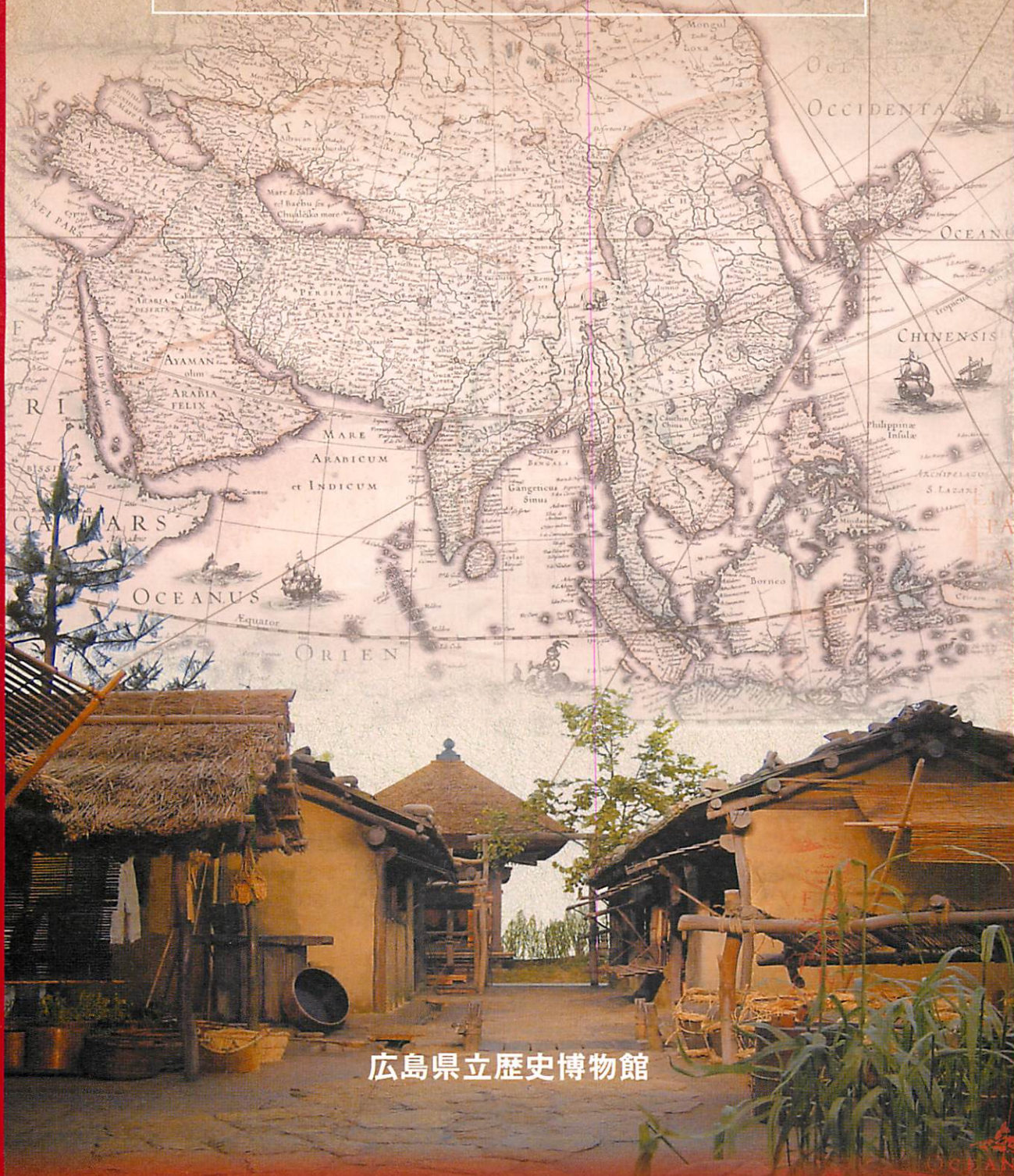


# 博物館 探検ノート

草戸千軒から中世民衆の生活そして世界が見える



広島県立歴史博物館

## 展示室に入る前に

### 博物館の役割

博物館は貴重な資料を展示するだけでなく、その資料を保存・管理し後世に伝えていく役割を担っています。そのため、館内には普段皆さんが見学するもののほかに次のような博物館にとって大切な施設があります。

- くん蒸庫……………資料を食い荒らす虫やカビを退治するためにガスで駆除を行ないます。
- 収蔵庫……………資料には、土・木・紙・布・金属などさまざまな材質のものがあります。それぞれの資料の特性にあわせて、収蔵庫に入れていきます。ここでは、24時間空調をきかせ、温度・湿度を一定に保つようになっています。
- 保存処理室……………木や鉄の資料は、そのままにしておくと、ぼろぼろになったり、さびでこわれたりするので、薬品を使って保存処理をします。

また、展示室にも資料のためにさまざまな設備が用いられています。

- 温度・湿度を一定に保つ→温湿度計で常に計測しています。
- 照明（照度・紫外線）→展示室は一見暗いように感じますが、資料の劣化を防ぐため、紫外線を出さない蛍光灯を使ったり照度を低くしています。



くん蒸庫



収蔵庫



保存処理室

展示室には、たくさんのモノ（資料）を展示しています。

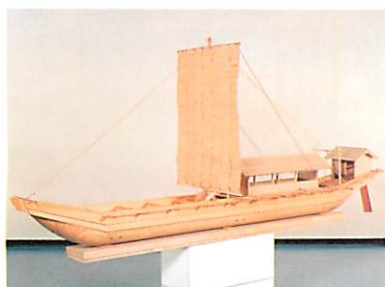
- このノートを利用しながら見学したり自分で課題（テーマ）を決めて見学するのも良いと思います。つまり、皆さんが「何を知りたいか」を決めると、「この資料はどういう意味があるのだろう」「この資料からわかることは何だろう」と考えます。そういう視点で見えていくと、資料はその見え方が違ってくるのです。
- 私たちの身の周りにあるさまざまな事を「知る」ことは、とても大切なことです。「知る」ということは、私たちの視野を広げてくれ、それとともに生活を豊かにしてくれます。

# I

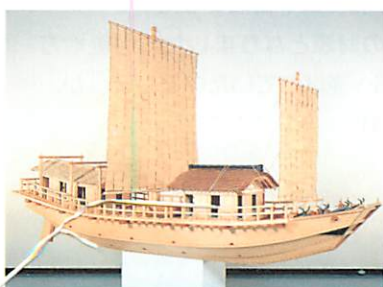
通史展示室

## 「瀬戸内の歴史をたどる」

この展示室では、広く瀬戸内の民衆生活と交通・交易をテーマとしています。各時代のシンボルとして、船を10分の1で復元した模型を展示しています。奥の歴史の壁には、上に日本の主な出来事が、下に瀬戸内の出来事が書かれています。私たち人間の歴史は悠久の時を超えて現在にいたっています。



古代の舟



遣明船



弁財船

舟は、交流のシンボルです。海は人々を結ぶ掛け橋でした。海でつながっているところならどこへでもいけるのです。舟は、私たちがもっとも長い間利用してきた交通手段なのです。

## | 原 | 始 | ・ | 古 | 代 |

**Q1** 旧石器時代・縄文時代の瀬戸内地域では、石器にどんな石材が使われていますか。

( )

石器に使用された石材の多くは、産出地が限られています。遺跡から出土した石器の成分を分析すると、どこで手に入れた石材なのかがわかります。安山岩は香川県（五色台）、広島県（吉和村・冠山）などで、黒曜石は大分県（姫島）や島根県（隠岐）などがあり、人の動きを知る手がかりになります。



**Q2** 朝鮮半島などから伝わった稲作は、弥生時代に入って本格的に始まりました。そのことを示す稲作に関する展示資料にはどんなものがあるでしょうか。

( )

隣の縄文時代に使用されていた土器と比較してみましょう。人の生活は、その時代の生活スタイルに合わせて必要な道具を作りだしています。稲作が伝わったことによって社会に大きな変化がおこり、道具である土器では甕（煮炊きする）、壺（貯える）、高杯（盛る）と用途により使用するものに変化しました。

**Q3** 飛鳥時代以降、日本は中国の律令制を導入し、大和朝廷を中心にした国作りを行ないました。国は、民衆からの税で運営されていきます。それが、租・調・庸や雑徭でした。

調・庸は都へ運ばれて、国の財源となりました。備後地方周辺では、どのようなものが都へ運ばれていたのでしょうか。（右の図を参考にしてください）



( )

調は、本来は布を納める税ですが、代わりに各地の特産品を納めてもよいことになっていました。また納める税を都へ運ぶことも税（運脚）でした。備後からは、都まで行きに2週間、帰りに1週間ほどかかりました。

## | 中 | 世 |

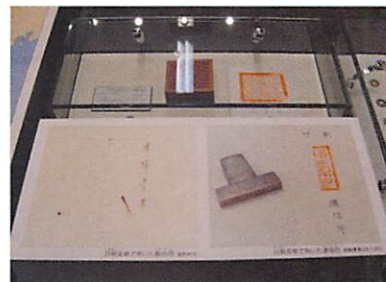
中世に入ると、瀬戸内の水運を利用して多くのモノが運ばれました。その中には、年貢などとは別に商品となる物資もありました。

**Q4** 備前国福岡市（岡山県和気郡長船町）の市場の様子が描かれています。どんなものが売られていますか。→ 次の展示室の実物大復原と比べてみましょう。

( )

市は、月の決まった日、例えば六のつく日（六、十六、二十六）に開かれるものでした。月に3回開かれるものを三斎市、6回開かれるものを六斎市といいます。後には、常設の市も登場します。

**Q5** 遣明船は、明（中国）との貿易に使用されました。当時、正式な貿易船の証として勘合符をもって中国へ行っていました。この日明貿易で、輸入されていたものはなんですか？



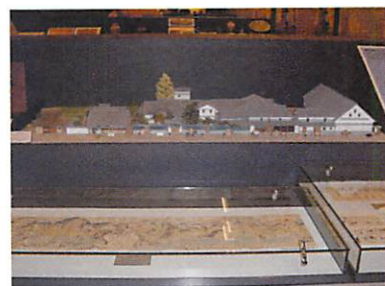
- ( ) …… この頃の日本では、モノをお金で買う慣習が定着していきました。
- ( ) …… 高級織物の原料として輸入されました。白糸と呼ばれています。

## | 近 | 世 |

神辺宿は、山陽道の宿場町でした。神辺本陣には、参勤交代の大名や公用の旅行者などが休泊しました。また、一般の旅行者も多く通行しました。

**Q6** 宿場町のような多くの旅行者が集まる場所というのは、文化の集散地でした。なぜですか？

( )



**Q7** この<sup>ます</sup>枡は、江戸時代に使用されていた一斗枡です。こうした枡が使用されることで、流通は安定します。なぜですか？

( )



# II

## 草戸Ⅰ展示室 「よみがえる草戸千軒」

### | 草 | 戸 | 千 | 軒 | と | は |

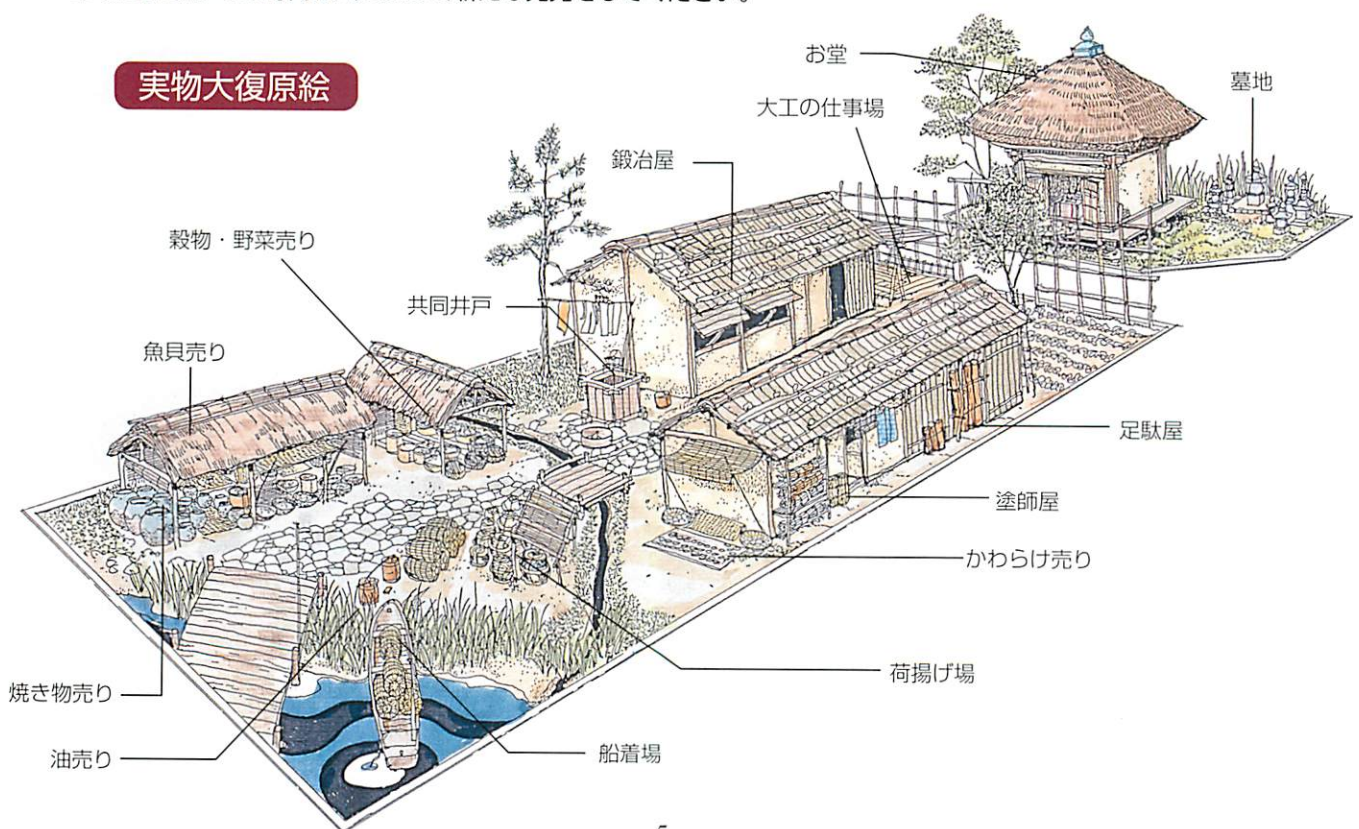
福山市市街地の西側を流れる芦田川。その川底に埋もれていた中世の町です。主に鎌倉時代後期～室町時代後期まで栄えた町で、当時の民衆の生活を物語る多くの資料が出土しています。

### | 実 | 物 | 大 | 復 | 原 | ま | で |

調査によって出土したモノ（資料）は、整理されます。その整理作業の中から当時の人々が、どのような生活を送っていたのかが解明されました。実物大復原は草戸千軒から出土した資料からわかったことと、中世に描かれた絵巻などを参考にしながら草戸千軒の一角を復原しています。

実物大復原は、時代は草戸千軒がもっとも栄えた南北朝時代、季節は初夏の夕暮れ時に設定されています。あなた自身がその時代の人になって新たな発見をしてください。

#### 実物大復原絵



- Q1** 荷物を運んできた船はくりぶね割舟という一本の木を削りぬいて造った舟です。草戸干軒のような水路や川のあるところでは盛んに使われました。この舟がなぜ使われたのでしょうか。遺跡の環境から考えてみましょう。

( )



- Q2** 市場ではどんなものが売られているのでしょうか。

( )

- Q3** 土器も並べられていますが、どこから運ばれてきたものなのでしょうか。(貯えるコーナーを参考にしてください)

( )

- Q4** 市場は自然木を利用した簡単なつくりになっていますが、どうしてなのでしょう。

( )

通史展示室で見た一遍上人絵伝の市も同じような簡単なつくりの小屋でした。出口付近の町並模型をよく観察してみましょう。

- Q5** それぞれの職人の家の中にあるもので、どんなものが市場から買ってきたものなのでしょうか。

市場には、ナマコを干したものが売られています。ナマコはもともとは「コ」と呼ばれていました。干したものが「ホシコ」、炒ったものが「イリコ」、生のものが「ナマコ」と呼ばれていました。



**Q6** 柱にぶら下がっている木筒は、メモ書きとして使われています。木を用いるとどんな利点があるでしょうか。（商うコーナーをみてください）

( )

**Q7** <sup>ぬしや</sup>塗師屋（漆ぬり）の家と<sup>あしだや</sup>足駄屋（下駄づくり）の家は、長屋となっています。それぞれの仕事にあわせた造りになっています。違う部分を探してみましょう。

( )

**Q8** 足駄屋の家の横には、ゴミ捨て穴があります。どんなものが捨てられているでしょう。

( )

遺跡を発掘調査しても、人間が生活していた家や井戸などがそのまま出てくるわけではありません。こうした地上にあるものがなくなった後に地下に残る埋まった溝や穴、井戸など地下から当時の生活を再現していきます。そして、当時の情報を多く伝えるのが、ゴミ捨て穴です。皆さんが、ゴミとして捨てるものを想像してください。日常使うものを捨てていませんか？何を食べていたか？何を使っていたか？などの様々な情報が満載なのです。

**Q9** 大工の作業場にある道具は、現在の道具と機能は同じでも、使い方が違ってきます。どういうところが違うのでしょうか。（削りかすなども参考にしてください。）

( )

**Q10** 当時の人々の履物は、下駄・草履などですが、絵巻物などに描かれていて、草戸千軒で初めて見つかった履物はなんでしょう。

( )



Q11 それぞれの職人の家には、夕食が用意されています。どのような食べ物があるかを確認してみましょう。

### I 塗師屋の食事

①



③

④

②

⑤

塗師屋の食事は、精進料理となっています。この頃から民衆の間でも食べられはじめました。

### II 足駄屋の食事

①



③

②

④

足駄屋の食事は、ふだんの日の献立を再現しています。

### III 鍛冶屋の食事

①



④

②

⑤

③

⑥

鍛冶屋の食事は、めでたい日の献立を再現しています。

# III

## 草戸Ⅱ展示室 「出土品はかたる」

Q1 草戸千軒では、種子類・獣骨類・魚骨類・貝殻などが多く出土し、さまざまなものが食べられていたことがわかりました。イヌの骨も出土していますが、これらには傷がみられます。この傷はどうしてできたのでしょうか。

( )



中世には米を常食とする習慣がかなり普及し、三度食も広まってきました。食品の種類も増えてきました。調理法では生もの・汁物・煮物・焼き物など日本料理の基本が出来上がりました。

Q2 草戸千軒には、日本各地で作られたさまざまな焼きものが瀬戸内海の海上交易によって運び込まれています。調理で使う焼き物は何がありますか。また、それはどこの製品でしょうか。

( )

Q3 草戸千軒の発掘調査は、中世遺跡の考古学的な調査研究の先駆けとなりました。これを契機に全国各地で中世遺跡調査が行なわれるようになりました。この展示室で紹介している8か所の中世遺跡のうち草戸千軒と性格が似ている遺跡はどこでしょうか。

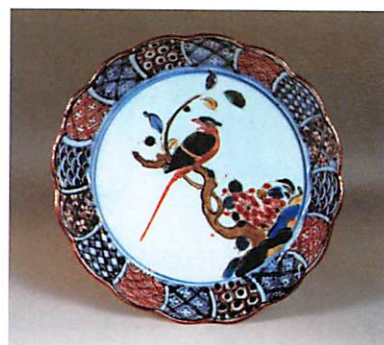
( )



モノが世界を結ぶ



■ 縞文蒔絵徳利 サントリー美術館所蔵



■ 色絵花鳥地文捻輪花皿 (柴田コレクション)  
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵



■ 青磁碗 (龍泉窯系) 草戸千軒町遺跡出土



■ 白磁皿 (景德鎮系) 草戸千軒町遺跡出土

- 宋元磁器の流れ (13-14C)
- 南蛮漆器の流れ (16C)
- 古伊万里焼の流れ (17C)

## 年表

年代	広島県の動き	日本の動き	世界の動き
旧石器時代	冠遺跡(吉和村)		猿人(アウストラロピテクス) 北京原人 火の使用
縄文時代 (前1万年頃～)	大田貝塚(尾道市)	岩宿遺跡(群馬県) 三内丸山遺跡(青森県)	四大文明が栄える (前3000～前1600年頃)
弥生時代 (前300年頃～)	亀山遺跡(神辺町)	金属器の使用がはじまる 吉野ヶ里遺跡(佐賀県)	ローマ帝国成立(前27年) 仏教が中国に伝わる(67年)
古墳時代 (300年頃～)	潮崎山古墳(新市町)	倭王武が宋に使いを送る(478年) 仏教が伝わる(538年説・552年説)	高句麗に仏教が伝わる(372年)
飛鳥時代 (600年頃～)	寺町廃寺(三次市)	遣隋使として小野妹子が隋へ送られる。(607年)	イスラム教がおこる(610年) 唐が成立(618年) イスラム帝国が成立
奈良時代 (710年～)	安芸国で遣唐使船が造られる。(761年)	平城京遷都(710年) 国分寺・国分尼寺が建立される	新羅が朝鮮半島を統一(676年)
平安時代 (794年～)	尾道が大田荘の倉敷地になる(1169年)	平安京遷都(794年) 藤原道長が摂政となる(1016年)	宋が成立(960年)
鎌倉時代 (1192年～)	この頃から草戸千軒が栄える	鎌倉幕府が開かれる(1192年) 蒙古襲来(1274・1281年)	モンゴル帝国が成立(1206年) <b>宋元磁器がアジア・アフリカへ輸出される</b>
室町時代 (1333年～)	常福寺五重塔が建立される(1348年)	日明貿易が開始される(1404年) 応仁の乱(1467年) キリスト教が伝わる(1549年)	ルネサンスがはじまる 明が成立(1368年)
安土桃山時代 (1578年～)	この頃草戸千軒が衰退する	<b>南蛮漆器が輸出される</b> 本能寺の変(1582年)	マゼラン世界一周(1519年)

年代	広島県の動き	日本の動き	世界の動き
江戸時代 (1600年～)	福山城下の建設がはじまる (1619年) 草戸千軒が洪水で減んだと 伝えられる(1673年)	太閤検地開始(1582年～)  江戸幕府が開かれる(1603年) 鎖国体制が完成(1639年) <b>伊万里焼が盛んに輸出される</b>  享保の改革(1716～44年)  寛政の改革(1787～1793年)	少年遣欧使節がグレゴリウス13世 に謁見する(1585年)  ルイ14世即位(1643年)  大英博物館創立(1753年) イギリスで産業革命がはじまる
明治時代 (1868年～)	長州戦争のため幕府軍が 広島城下へ集まる(1864年)	ロシア使節ラクスマンが根室に 来航(1792年) ペリーが来航(1853年)	アメリカの独立宣言(1776年) フランス革命(1789年)  アメリカの南北戦争(1861～65年)
大正時代 (1912年～)	山陽鉄道県内全線開通 (1897年)	明治維新 大日本帝国憲法発布(1889年) 日清戦争(1894年) 日露戦争(1904年) 第一次世界大戦に参戦(1914年)	ヨーロッパ列強の植民地争奪が 激しくなる
昭和時代 (1926年～)	因島で県内初のメーデー (1922年)	関東大震災(1923年)	第一次世界大戦(1914年～18年) ソビエト政府ができる(1917年) ファシズムが台頭する 世界恐慌がはじまる(1929年)
	広島でラジオ放送がはじまる (1928年)	満州事変(1931年) 太平洋戦争(1941年～45年)	第二次世界大戦(1939年～45年) 国際連合発足(1945年) 米ソの冷戦が始まる(1947年)
	原子爆弾が投下される (1945年)	日本国憲法公布(1946年) サンフランシスコ講和条約(1951年) 国際連合に加盟(1956年)	
	山陽新幹線、岡山・博多間開 通(1975年)	日中共同声明(1972年)	
平成時代 (1989年～)	当館が開館する(1989年)		東西ドイツの統一(1990年)
	芸予地震(2001年)	2002年 FIFAワールドカップを韓国と 共同開催	

## 通史展示室

- A1** 安山岩や黒曜石です。  
 安山岩・・・広島県冠山・香川県五色台・金山などが産出地  
 黒曜石・・・島根県隠岐島 大分県姫島などが産出地
- A2** 稲作の作業に使うものとして、石包丁（穂を摘むのに使う）
- A3** 鍬。鉄製品。県北では、この時代の鍛冶炉や製鉄遺跡が発掘されています。
- A4** 壺、布、魚、米などが売られている。
- A5** お金・・・宋銭や明銭（永楽通宝・洪武通宝など） 中国産生糸＝白糸
- A6** 多くの人々が、広い範囲から集まると、情報が集まります。参勤交代で江戸に滞在していた武士たちは、江戸の文化を自分の領国へ、また自分の領国の文化を江戸へと伝えます。一般の旅行者たちも自分たちの情報を交換し、各地の様子を知っていくのです。
- A7** <sup>どりょうこう</sup>度量衡と呼ばれる長さ、容積、重さは、豊臣秀吉の時代に全国で統一されました。モノが流通する際に、どこで、誰がはかっても同じであるということは、不公平がなくなるということです。それは、取引の時の信用につながります。

## 草戸 I 展示室

- A1** 水路のような場所＝多くの荷物を少人数で運べる。底が浅く細いところでも荷物を運べる。小回りがきく。
- A2** 土器（かわらけ）、壺、穀物、野菜、油など
- A3** 備前（岡山県）で焼かれた壺や甕
- A4** 仮設の市場だから。室町時代の後期になると常設の市場が多くなります。常設では、堅く木組みした建物が建てられます。（出口付近の町並模型を見てください）
- A5** 甕（水を貯蔵するため）、壺（穀物や調味料を貯蔵するため）、かわらけ（日常食器や灯明皿として利用）、油（菜種油）、食材（鯛や・・・）など
- A6** 変形しにくい。削ることで何度も使える。紙より安い。
- A7** <sup>ぬしや</sup>塗師屋は土壁 <sup>あしだや</sup>足駄屋は板壁となっている。理由は、塗師屋はほこりを嫌うので、板壁よりほこりの入りにくい土壁にしています。

A8 割れた土器、貝殻など

A9 やりがんなといって、現在のかんなは、手前に引きますが、このやりがんなは押しながら木を平らに削ります。

A10 板金剛といいます。絵巻物に描かれており、草戸千軒で実物がはじめて出土しました。

## A11

### I 塗師屋の食事

① そうめん

② 麦と米をまぜたごはん



③ 高野豆腐

④ ふきのおひたし

⑤ にらとわかめのすまし汁  
(塩 しょう油を使ったうす味の汁)

### II 足駄屋の食事

① 芋づるとささげの塩づけ

② 麦と米をまぜたごはん



③ はぜを焼いたもの

④ しじみとせりのすまし汁

### III 鍛冶屋の食事

① たいの塩焼き

② しょうがをおろしたもの

③ 米のごはん



④ こんぶ ごぼう 芋づるのにしめ

⑤ たこのまなす(みそだれ付き)

⑥ はまぐりとみつばのすまし汁

## 草戸Ⅱ 展示室

A1 イヌを解体した時にできた傷です。中世民衆の間にイヌなどの肉食が行なわれていたことが明らかになりました。

A2 すり鉢・・・備前・亀山      こね鉢・・・常滑・魚住      おろし皿・・・瀬戸

A3 博多・尾道・・・いずれも港町です。

## 利用案内

### ◆開館時間◆

午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

### ◆休館日◆

月曜日(祝・休日の場合は開館)

年末年始(12月28日～1月4日)

そのほか展示替えなどのため、臨時に休館することがあります。

### ◆入館料◆

一般……………290円(団体220円)

大学生……………210円(団体160円)

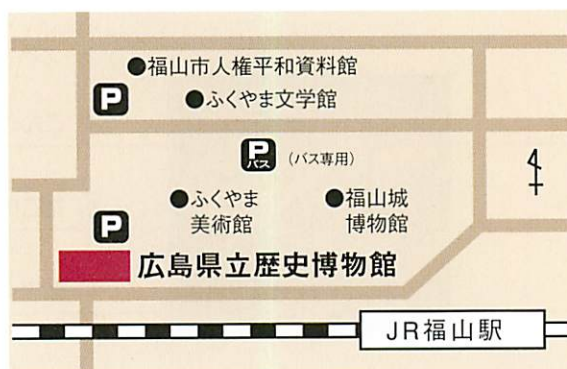
高校生まで……………無料

団体は20人以上が同時に入館する場合に適用されます。

企画展・特別展などの入館料は別に定めます。

### ◆入館料(通常の展示)の免除◆

- 身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳(障害者手帳)・健康手帳(65歳以上)の交付を受けている者
- 県内の大学に在学する外国人留学生
- 小学校、中学校又は高等学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の児童又は生徒の引率者
- 広島県教育委員会が行う特別の展示と併せて通常の展示を観覧する者
- 文化の日における入館者



JR福山駅 北口から西へ400m  
山陽自動車道 福山東・福山西インターから約20分

## 広島県立歴史博物館

〒720-0067 広島県福山市西町2-4-1

TEL 084(931)2513 FAX 084(931)2514